

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。

立春（二十四節気の最初の節気）も過ぎ、朝晩の寒さが少し緩んできたような気がします。

さて、先日、食事をしながらテレビのニュースを見ていた時のことです。

各地の「二十歳のつどい」についての報道を見ながら、「あと少しで成人だ。『大人の〇〇（お菓子）』も食べられるようになるよ(^_^)」と娘が言いました。私のことをからかっているのかと思いつつも、口では「そこの？じゃあ、誕生日には『大人の〇〇菓子』買ってあげるよ」と言い、心の中では（振袖…着たいと言うだろうなあ…いくら位かかるのかな）と思いました。まさに、「親の心子知らず」とは、このようなことを言うのだろうと思いました(^_^;)

我が家には、18歳成年にまつわるエピソードがまだあります。

ある日のこと。娘が「成人になったら、ママの子どもじゃなくなるの？」と真面目な顔で言うので、面白いことを言うなあと思いつつも、どうしてそんなことを聞くのかと尋ねてみました。子どものうちに私としたいことがまだまだたくさんあるのに、（4月で18歳なので）時間があと少ししかない…ということでした。私は、おかしくて笑いたくなる顔を抑え、「何歳になっても、ママの子どもであることに変わりはないよ」と伝えると、とても安心していました(^_^;)

法律上は、18歳成年なのでしょうが、我が子の精神的成年はまだ先だと、しみじみ思うとともに、大人の一人としての自覚を持った行動をとることができるように、親としてしなければならないことがまだまだあると思えました。

この「まだまだ」がお互いになくなることはないのかもしれませんが、すり合わせしながら成年になっていくのかもしれないね。

それにしても、子どものうちに私としたいこととは…(・・? …何?

考えても分からないので、小さい頃に娘がプレゼントしてくれた「お手伝い券」にならって、「子どものうちにしてほしいこと券」を「大人の〇〇菓子」とともに、18歳の誕生日にプレゼントしようかと考えています。

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆

子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134

☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/

kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★

【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】<https://manabinet.pref.iwate.jp/hp/>

【Twitter】<https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★